

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		(精) 必修 (社.発) 選択	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
宮澤 江梨子	B313	eriko.miyazawa	木曜日 10:30~12:30		
授業の目的・概要	<p><目的>精神障害に関する「社会保障制度の概要」「相談援助に関わる組織、団体、関係機関および専門職や地域の支援者」「更生保護制度」「医療観察法」「社会調査」について理解を深め、実際の支援に必要な知識を習得することを目的とする。</p> <p><概要>精神保健福祉の制度とサービスⅠと関連させながら、教科書を中心に、目的にある内容について解説をする。適宜、新聞等の資料を用いて授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	法制度は変化するものであるため、日々ニュースなどで時事問題に目を向けることが望ましい。また、疑問をそのままにせず積極的に質問をすることで理解を深めてほしい。				
教科書	精神保健福祉に関する制度とサービス (新・精神保健福祉士養成講座第 6 巻) /編：日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健福祉に関する組織・機関、専門職・地域の支援者の構造や役割を説明できる。			HSU(2)、WP(2)、(5)	
②	更生保護制度を理解し、ソーシャルワークとの関連性について説明することができる。			WP(5)	
③	医療観察法の成立経緯と内容を理解し、精神保健福祉士の役割と責務が説明できる。			WP(5)	
④	社会調査の意義と方法を理解し、ソーシャルアクションとの関係性を説明できる。			HSU(5)、WP(2)、(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション：授業の進め方 (Teams)、課題の提出方法、評価方法について理解する。	同時双方向型授業	次回講義範囲の教科書を読む。	4	
2	精神障害者と社会保障制度について学ぶ。	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
3	精神障害者の支援に必要な社会資源について学ぶ① 相談援助に関わる行政組織と民間組織	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
4	精神障害者の支援に必要な社会資源について学ぶ② 福祉サービス提供施設・機関とインフォーマルな資源の役割	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
5	刑事司法と更生保護について学ぶ。	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
6	司法・医療・福祉の連携の必要性和実際について学ぶ。	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
7	医療観察法の意義と内容について学ぶ①。	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
8	医療観察法の意義と内容について学ぶ②。	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
9	医療観察法の審判と精神保健参与員の役割について学ぶ①。	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
10	医療観察法の審判と精神保健参与員の役割について学ぶ②。	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
11	医療観察法における入院医療について学ぶ。	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
12	医療観察法における通院医療 (地域処遇) について学ぶ。	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
13	社会復帰調整官の役割と実際について学ぶ。	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
14	社会資源の調整・開発にかかわる社会調査について学ぶ。	同時双方向型授業	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
15	全体を通してのまとめと振り返りを行う。	同時双方向型授業	全体の復習を行う。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照。				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	30	0	0	20	
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験（筆記）で授業内容の理解度を評価する。講義で取り扱った内容を試験範囲とする。				試験問題を添削し、解答用紙を返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	毎回の講義で提出を求めるリアクションペーパーから、授業内容の理解度や考察等を評価する。未提出の場合は減点となる。				次回講義の始めにフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	出席状況及び授業態度、意欲、発言、協調性について、総合的に評価を行う。				適宜、授業内でフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他		<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。 ・Teamsを使用した同時双方向型授業を行うため、授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨します。課題や資料のダウンロードもあるため、通信容量制限がある場合は十分に注意してください。 ・新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスの変更が行われる可能性があります。 					